

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立伊奈学園総合高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が、「学力の伸長」と「希望の進路をかなえる」と明確に示されている学校像である。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で学校の特色を踏まえた適切かつ明瞭なものが設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	進路指導や学習指導など喫緊の課題解決のための中期的な視点に立つ目標となっている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっているが、内容を更に具体化することを期待したい。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	組織で取り組む重要性について共通理解が図られており、評価運営委員会と分掌・委員会等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。組織間の連携を強化するとともに、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学年等が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、その達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の中・長期的な課題を析出し、現状を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、達成状況や課題の共通理解を図っている。前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしているが、アンケート結果の原因や背景を考察し、有効に活用するとともに、分掌・学年等と学校全体を連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			